



お元気ですか  
志村 たかよし です

第514号 2010年10月17日

日本共産党中央区議団

中央区築地 1-1-1  
電話 3546-5563  
FAX 3546-9570

都議会の民主・自民・公明が、都民の願いにそむき

# 豊洲新市場関連予算の執行を認める



昨年6月の「移転」反対のデモ行進

10月7日、都議会の最終本会議で、自民・公明両党が築地市場「移転」関連予算の「全額執行」を求めるなか、民主党は都民の願いにそむき、豊洲の市場予定地購入費以外の「移転」準備（\*）のための予算、約21億円の執行を認めてしまいました。

日本共産党都議団の清水ひで子議員は、豊洲移転強行ではなく、よりよい現在地再整備案を早急につくるよう主張し、特別委員会で

審議された再整備案の過大な施設規模など弱点を正して、現在地再整備を前に進めるよう求めました。

## 「現在地再整備」は、特別委員会で継続審査に

本会議では「現在地再整備案」

を審議した特別委員会では、豊洲「移転」計画と現在地再整備計画を継続調査することを、日本共産党や民主党などの賛成多数で決めました。

自民党や公明党などは反対しました。

清水都議は「市場にとって何よりも重要な食の安心・安全の確保」という点で、豊洲には致命的な問

（\*）民主党が認めた予算の内容：  
「土壌汚染対策工事の実施設計」  
「建物の基本設計」 「土地の鑑定評価」 「環境アセスの調査委託」等

題点がある」「都の汚染土壌処理実験で高濃度汚染処理を行わないなど重大な疑惑が明らかになり、議論が尽くされていない」と指摘し、審議継続を求めました。

石原都知事は、審議を尽くしたとして、土地購入予算の執行を強行する可能性もありますが、土壌汚染対策に欠陥があり「食の安全」を確保できない状況です。

大型量販店優先で規模が過大となっている市場計画を見直し、都が責任を持って現在地再整備案をつくるよう運動を広げていきたいと思います。



で継の水ん  
議の成清ぶん  
会委員うん  
の審査をし  
7日特別討論  
赤旗

# 第7回「子どもとためす環境まつり」佃島小学校で開催



広い体育館いっぱいブースを設置



入り口にはおなじみのバルーンが…

10月9日、第7回「子どもとためす環境まつり」（主催は中央区環境保全ネットワーク。中央区共催）が、佃島小学校で行われました。



大気中の二酸化窒素の測定実験



ドングリで やじろべえ を作ります

体育館を中心に、楽しみながら環境問題を考え、体験できるようになっており、40を超える協賛団体・企業がブースを設けました。



**民主党政権が進める、保育制度を根本から変える「子ども・子育て新システム」の問題点を区長が認める**

（9/22の本会議一般質問から）

民主党政権は国の財政負担軽減と保育への企業参入を促進させるため、保育所と幼稚園、認証保育所を「こども園」にし、財源システムも大きく変えるなど、保育制度を根本から変えようとしています。私（志村）は問題点を指摘し、区長の見解を求めました。

●志村：「新システム」は、自治体の財政力の違いによってサービスに大きな格差が生じると思うが。

◎区長：区市町村みずからの裁量でサービスを提供できるようにするが、子育て関連の財源を包括的に区市町村に交付するなど財源問題が不透明。

●志村：企業にまかせて保育所を増やそうとしても見通しは持てないのでは？

◎区長：株式会社などの参入促進など、従来の仕組みを大

きく変える内容になっている。●志村：「応益負担」を導入すると経済的弱者が入所しづらくなると思うが？

◎区長：利用者みずからが事業者と契約を結ぶ「公的保育制度」の導入となるが、利用者負担の問題が不透明。

●志村：認可保育所の増設で待機児ゼロをめざすべき

◎区長：認可保育所を中心に保育所の拡充を努め、多様な保育ニーズに応える認証保育所も活用する。

「意見、要望など、お気軽にご連絡ください」(05066-66009)